

令和8年第1回清瀬市教育委員会定例会会議録

令和8年第1回清瀬市教育委員会定例会が令和8年1月29日(木)午前9時30分に招集された。
出席委員、議事の概要は次のとおり。

- 1 日 時 令和8年1月29日(木) 午前9時30分
- 2 場 所 庁議室
- 3 付議案件 別紙議事日程のとおり
- 4 出席委員 坂 田 篤 (教育長)
宮 川 保 之 (教育長職務代理者)
尾 崎 啓 子 (委員)
鈴 木 美 紀 (委員)
中 村 清 人 (委員)
- 5 説明者 谷 口 雄 磨 (清瀬小学校校長)
- 6 事務局 南 澤 志 公 (教育部長)
大 島 伸 二 (教育部参事兼教育指導課長)
大 野 英 武 (教育企画課長)
宮 野 将 史 (教育指導課教育支援担当課長兼統括指導主事)
山 田 能 久 (生涯学習スポーツ課長)
古 川 百 香 (生涯学習スポーツ課副参事)
山 口 由 希 (図書館長)
久 保 淳 (指導主事)
- 7 書 記 鈴 木 和 也 (教育企画課主任)

令和8年第1回清瀬市教育委員会定例会

令和8年1月29日（木）
庁議室（清瀬市役所本庁3階）

定例会

- | | | | |
|------|------------------|------------------------------|---------------|
| 日程第1 | 会議録署名委員の指名（中村委員） | | |
| 日程第2 | 教育長報告 | | |
| 日程第3 | 教育委員報告 | | |
| 日程第4 | 報告事項1 | 小学校第一学年におけるプレクラスの試行実施について | 教育指導課長 |
| 日程第5 | 報告事項2 | 命の週間の取組について | 教育指導課教育支援担当課長 |
| 日程第6 | 報告事項3 | 清瀬市スポーツ推進委員の退任について | 生涯学習スポーツ課副参事 |
| 日程第7 | 報告事項4 | 「Tokyo 区市町村 DXaward2025」について | 生涯学習スポーツ課副参事 |
| 日程第8 | 報告事項5 | 南部児童館等複合施設（まっぼっくる）開館について | 生涯学習スポーツ課長 |
| 日程第9 | 報告事項6 | 図書館の運営について | 図書館長 |
| その他 | | | |

開会

坂田教育長が開会を宣言

日程第 1 会議録署名委員の指名（中村委員）

中村委員を指名

日程第 2 教育長報告

坂田教育長 1月27日、清瀬第五中学校への教育委員会A訪問を実施した。全体的な印象として生徒が落ち着いており、丁寧な教育活動が行われているという強い印象を受けた。特に、机に伏している生徒が一人もいなかった点について、学校支援本部コーディネーターの齊藤氏も「今まで訪問した学校では何人かはいたが、この学校では一人も見ることにはなかった」と評価していた。

牧口校長は、授業の狙い・活動・展開についての明示を求めているが、まだ徹底されていないという印象があった。理科担当の太田主幹教諭の授業では、黒板に「本時にやること」「本時の目標」「評価」の3点が明示されており、子供たちが何をやるのか、どういう力を身につければよいのかが分かる。この形式を横展開してほしい。

音楽の授業では、生徒が教師の指導なく自律的にパート練習を行っており、ここまでの活動ができる音楽授業はあまり見たことがなかった。活動の狙いと、それに対して自分はどうかというアプローチが加われば、さらに素晴らしい活動になる。

学年通信が1月30日時点で既に40号に達しており、保護者への情報提供と子供たちの活動の振り返りに寄与している。全クラスに行事での活躍写真が掲示されており、特定クラスではなく全学年・全クラスで実施されている点を高く評価したい。2年C組の教室に、1年C組・3年C組からのコメントが掲示されており、縦割りの情報共有が機能していること。学年間の縦割りを行っている点は、学年結束の意図の表れであり、見事に成立している。

学力調査の結果について、丁寧な教育活動が行われているがゆえに、学力調査の平均正答率は全教科・全校種で国平均を上回っている。なぜこのような教育活動ができるのかと尋ねたところ、文化と風土だとおっしゃっていた。生徒同士がお互いを認め合う文化と風土が長い時間をかけて築き上げられてきたものではないか。

1月24日、清明小学校学習発表会を拝見した。清明小学校の学習発表会は体育館ではなく、各学級でテーマに基づいた発表を行う文化祭形式で実施されていた。SDGsを学校全体のテーマとして取り組んでお

り、考えを発信する授業として主体性・対話性・深い学びが高まっていると感じた。また、4年生全員が体験する地域の伝統芸能の下宿囃子については、保存会の方々が直接指導しており、体験した子が保存会に入るという教育の循環が起きている。地域文化を伝承・継承していく、コミュニティスクールの典型的な例である。

1月24日、清瀬第十小学校の音楽会を参観した。4年生と6年生の合唱を参観した。入退場の際に子供たちが一切私語をせず、TPOを教えられずとも理解し実践できている点を高く評価したい。また、打楽器（バスドラム）の演奏においてストップ奏法が適切に指導されており、ただ音楽を再現するのではなく、楽器の特性をきちんと教えている。清瀬第十小学校の校長先生に、ぜひ第五中学校の子供たちにも見せてほしいとお願いした。小中連携の流れがあるからこそ、このような良い教育活動が行われている。

日程第 3	教育委員報告
-------	--------

中村委員	特になし
------	------

尾崎委員	特になし
------	------

宮川職務代理者	1月27日、清瀬第五中学校への教育委員会A訪問に参加した。一昨年度の第五中学校における太田主幹教諭の理科の授業で子供たちにとって何の目標になるのか、何の活動への刺激になるのかの話をした。一般的に授業の振り返りをする際、何を振り返るかが示されていないことが多いが、この評価の明示がその役割を果たしている。
---------	---

小中連携が教育の向上に寄与するであろう。学校図書館を地域に開き、市民全体で子供たちの育ちを支える社会にしていくことが、市民意識の醸成につながる。

自分たちの社会をより良くしていくための経験として生徒会活動は重要であるものの全国的に停滞しているが、清瀬第五中学校はよく運用できている。生活目標も生徒自身が作成しており、自分たちの学びや生活を自分たちで作る必要があるという意識が育まれている。

清瀬第四中学校の校長先生が昨年清瀬第五中学校を訪問し、教室を見て先生方の意見を聞き、それを学校経営に反映させている。このような水平展開が進んでいる。

鈴木委員	1月27日、清瀬第五中学校への教育委員会A訪問に参加した。教室環境・学校環境が落ち着いており整えられていた。授業に向かうための最も大事な環境がしっかりできていた。
------	---

学校内の行動目標について、頑張ろうといった精神的な言葉ではなく、気持ちの良い挨拶をしようや助け合いましょうといった、自分が何をすればよいか分かりやすい行動目標の言葉があちらこちらにあり、子供たちがそれに向かっていけると感心した。

美術の授業の片付けについて、先生が非常に工夫して片付けを指導し

ており、一つ一つを細かいけれども丁寧に行っているからこそ、みんなが汚さず集中して取り組める流れが生まれていた。非常に素晴らしかった。

かつて副校長として在籍していた学校で出会った生徒と再会し、読書の話ができた。このような繋がりが個人としても非常に嬉しかった。

宮川職務代理者

宮城県の白石南小中学校は日本で初めて特別の教育課程に基づく不登校等の子供たちを対象とした教育一貫校である。フレンドルームでも職場体験のような取組を行えば良い取組になるのではないかな。学びの多様化学校の工夫をフレンドルームでも参考にして改善を進めていただきたい。

坂田教育長

同様の取組を行っている岐阜市の草潤中学校も全国的に有名である。教育委員として視察に伺う機会があればと以前から思っており、その際にはお声がけしたい。

日程第 4	報告事項 1 小学校第一学年におけるプレクラスの試行実施について
-------	----------------------------------

大島教育指導課長 清瀬小学校の令和8年度の新1年生において、プレクラスを導入する。詳細については谷口校長より説明する。

谷口校長 導入の背景として、学年体制での担任困難な事態への対応と年度末までの安定した学級経営の実現の2点がある。

清瀬小学校では毎年100名を超える新入生が入学しており、次年度も108名が予定されている。学級編成に際して詳細な情報の把握が困難な場合があり、学級開き後に不穏な空気や学習態度の乱れが生じたり、若手教員が担任困難を要したりするケースがあった。また、子供同士の相性に起因するトラブルによって学級経営が困難になる事例もあった。

入学後およそ1ヶ月間をプレクラス期間と位置づけ、1年生担任全員が全児童の状況を把握した上で、安定した学級編成を行う。プレクラス期間中は赤・青・黄色・緑の色別クラスを設け、暫定担任は固定するが、交換授業によるローテーション（A・B・C・Dシフト）を取り入れる。

メリットとして、担任全員が全児童のおよその状況を把握できること、学年体制で情報共有が進むこと、状況に応じた最善の学級編成が実現し安定した学級経営につながる事が挙げられる。

デメリットとして、保護者の理解と協力が必要なこと、プレクラス期間中の子供の不安感の払拭が必要なこと、学級編成に伴う事務作業の増加、食物アレルギー等の命に関わる情報の共有を迅速に行う必要がある事が挙げられる。

宮川職務代理者 成果の検証をどのように進めるか、また横展開のための報告をどう実施していくかについてお聞きしたい。子供にとって人間関係・社会性を学ぶ骨格となる期間になるのではないかな。

谷口校長 本年度中にプロジェクトチームで議論を重ね、次年度には検証委員会を立ち上げる。担任へのアンケート調査、児童への挙手制の意識調査・行動観察、保護者へのアンケートを通じて効果検証を行い、他校への情報提供も行っていきたい。

鈴木委員 入学説明会においてすでに保護者へ制度の案内を行った。

谷口校長 プレクラスの運用期間にあるＡＢＣＤはどのような意味か。

谷口校長 プレクラス期間中はシフト制で各クラスを担当して、ローテーションしていくようなイメージとなる。ＡＢＣＤはシフトの組み合わせを表したものである。暫定的な担任は固定しておき、１日のうちその先生とは合わない日は作らないようにする。

鈴木委員 暫定の担任はいるが、交換授業を行うようなイメージでよいのか。

谷口校長 子供たちの不安感を減らすためにも固定した担任の先生がいて、一部を交換授業のように入れ替えるという方式を行うようにする。

中村委員 幼稚園でもプレクラスに相当する取組があり、子供の特性を把握してクラス編成を行うことは非常に効果的である。実施要項に沿ってきちんと検証していただくことを期待している。

尾崎委員 子供への説明が不安軽減のために非常に大事である。また保護者への説明においても、効果の有無を問う前に、学校がこの制度で何をめざしているかをしっかり理解していただくことが重要である。

坂田教育長 ４月１日に入学したら１年間のクラスが決まっているというのが当たり前の文化であり、日本中の学校のほとんどがその形を取っている。今回はトップランナーとなる学校運営の一環として協力を承諾していただいた取組である。必ず課題は出てくるが、課題が目的達成の障害になるようであれば見直していただきたい。課題を乗り越えて教育目的を達成できるシステムであると判断できるならば、全力で協力したい。定期的な報告を受けたい。

日程第 5	報告事項 2 命の週間の取組について
-------	--------------------

宮野教育指導 本件については指導主事より報告する。

課教育支援担当課長

久保指導主事 本市では２学期・３学期の開始時１週間を命の週間と位置づけている。３学期の命の週間における各校の取組について報告があった。

清瀬第四小学校では、養護教諭がセクシュアルマイノリティの理解について各学級を巡回し講話を行った。子供たちは多様性を考え、相手を思いやる心情を育むことができたと報告されている。

清瀬第七小学校では、校長が自身の経験に基づく講話を行った後、人権作文を書いた５年生の児童が全校に向けて多様性についてのスピーチを行った。スピーチを聞いた子供たちが、身近な問題として自分事として感じている様子が窺えた。

清瀬中学校では、生徒の心と身体のウェブ健康観察アプリ「シャボテンログ」を活用し、生徒が毎日タブレットPCに自分の状態を記録し、教員が状態を確認できる取組を実施している。アプリを通じて教員との面談を希望することも可能であり、その機会を大切にしながら取り組んでいる。また、アプリの効果的な活用についての研修会も開催している。

なお、命の週間の1週間において、欠席理由を把握できていない児童生徒はいなかった。

2学期の命の週間の報告をした際に「子供の変容が分かるような資料にできると良い」との意見が出ていたことを受け、次年度に向けて学校への調査方法の検討を進めている。

宮川職務代理者

子供の変容についてしっかり記載するよう、次年度から各学校に向けて今から準備を進めていただく必要がある。また、校長の講話についてはぜひホームページで公開していただけないか、校長先生にご検討いただきたい。

日程第 6	報告事項 3 清瀬市スポーツ推進委員の退任について
-------	---------------------------

坂田教育長	報告事項 3 については個人情報に抵触する可能性がある。清瀬市教育委員会会議規則第10条に基づき非公開とすることに異議はないか。
-------	--

各委員	異議なし
-----	------

坂田教育長	報告事項 3 については非公開での取扱いとする。
-------	--------------------------

日程第 7	報告事項 4 「Tokyo 区市町村 DXaward2025」について
-------	-------------------------------------

古川生涯学習 スポーツ課副 参事	東京都主催の Tokyo 区市町村 DXaward2025 において、当課の学校施設スポーツ開放事業における学校体育館へのスマートロック導入の取組が評価され、12月24日の最終選考においてプレゼンテーションを行った。おかげさまで他自治体への横展開のしやすさなどが評価され、特別賞DXスプリント賞を受賞することができた。詳細については東京都デジタルサービス局のホームページにてプレゼンテーションのアーカイブ動画も含めて紹介されており、2月中旬には市のホームページにも掲載予定である。
------------------------	--

坂田教育長	教育委員会関係でこのアワードの表彰を受けたのは本市だけか。
-------	-------------------------------

古川生涯学習 スポーツ課副 参事	ほとんどはDX関係課の受賞であった。
------------------------	--------------------

坂田教育長	
-------	--

	当日オンラインでリアルタイムにプレゼンテーションを視聴したが、生涯学習スポーツ課の職員が立派に報告を行っており、他自治体への横展開が容易に行えるという点が高く評価されたものと思う。非常に誇らしく思う。
--	--

日程第 8 報告事項5 南部児童館等複合施設（まっぼっくる）開館について

山田生涯学習スポーツ課長 中央公園及び中央図書館跡地に清瀬市立南部児童館等複合施設の建設が完了した。2月1日の開館の際にオープニングイベントを実施する予定である。イベントは午前10時開始を予定しており、屋内では子ども縁日・スタンプラリー・ワークショップなどを開催し、屋外ではキッチンカーの出店・紙芝居、夕方には夢空間でのアンバサダー就任式などを用意している。

施設の概要について、南部児童館の施設としては屋内広場・学習室（エチュード梅園）・こども図書コーナー・防音室を用意している。屋内広場は約200平米で毎日のようにイベントを開催する予定である。エチュード梅園は20席の学習席を設けており、子供たちが自由に来館して学習することが可能である。こども図書コーナーには小上がり部分も用意しており、乳幼児と保護者が本を読んだり読み聞かせイベントを開催したりする予定である。防音室はバンドルームのような形での使用を想定しており、ベース・ドラム・ギターなどを用意して音楽活動に親しんでいただきたいと考えている。施設全体は生涯学習スポーツ課が所管として管理する。1階部分には梅園地域市民センターとして貸室2部屋・エントランスホール・授乳室等も用意している。2階部分が南部図書館となるが、詳細は図書館長から説明する。

山口図書館長 まっぼっくるのオープニングイベントについて、図書館所管部分を説明する。屋外では生き物カメラマンがカエルやヘビなどを持参し、子供たちが実際に触れるイベントを開催する予定である。

南部図書館の概要について、現在約4万冊の蔵書をそろえている。テラス席での読書も可能な仕組みを考えており、開館時間は午前9時から午後9時までと従来より長い時間となるため、様々な利用が期待できる。

日程第 9 報告事項6 図書館の運営について

山口図書館長 図書宅配サービスについて報告する。学校宅配は11月以降参加校が増加し、利用件数も順調に増加している。一般宅配については、夏休み前は1日60件程度であったところ、夏休み中に80件、夏休み明けに70件となった。寒くなると図書館利用が減少するのが通例であるが、先週の週平均も約70件を維持しており、市民への浸透が順調に進んでいると考えている。

図書館を使って調べる学習コンクールについて、今年度は1,591作品の応募があり、そのうち24作品を全国コンクールに出品した結果、優良賞と奨励賞の2賞を受賞することができた。優良賞は「妹はどうして可愛いのか？」と題した作品で、3年目の応募となるお子さんが妹さんへの深い調べ学習を行ったものである。奨励賞は「どうして鳥の羽には色があるのか？」と題した作品で、こちらも継続して深く調べていただいた成果が窺えた。

- 坂田教育長 宅配サービスについては次年度から定期的に学校ごとの貸し出し数についてこの定例会で報告する。調べる学習コンクールについては、奨励賞のお子さんが昨年度も奨励賞を受賞しており、2年連続の受賞となった。これは図書館の働きかけの成果であると身内ながら思っている。
- 鈴木委員 宅配サービスが学校宅配だけでなく一般宅配も件数が落ちていないことは非常に嬉しい。学校宅配は教員の声かけによって取組やすいが、子供を通じて家庭へと広がることで一般宅配も増えていくのではないかと期待している。また、調べる学習で「妹はどうして可愛いのか?」を作ったお子さんと話す機会があり、大変嬉しく思った。
- 中村委員 宅配サービスについて、運営している園の連絡帳に宅配サービスを利用して重宝しているというご家庭からの言葉が上がってきており、一般の家庭にも浸透してきていると感じている。広報がさらに進んでもっと広がっていくと良いと感じた。
- 宮川職務代理者 『科学の芽えほん たおれる? たおれない? 3本あし』という絵本が出版されたが、これは6年ほど前に4年生のお子さんが自分で実験を行い、朝永振一郎記念「科学の芽」賞を受賞した内容で、それが本になったものである。「どうして妹は可愛いのか?」も含め、子供たちの創造的な活動が広がっていく可能性は大いにある。清瀬の教育委員会がそういうことができる教育を行っているという評価だと思う。
- 宅配サービスが何をめざしているのかという目的を改めて確認するための話し合いも必要ではないかと考えている。そうすることで、この後の総合教育会議での議論にも良い意味でつながっていくものと思っている。

閉会

坂田教育長が閉会を宣言

閉会 午前10時55分

上記のとおり会議の顛末、大要を記し相違ないことを証する。

清瀬市教育委員会

教 育 長

教 育 委 員